

令和6年9月10日

保護者の皆様へ

宇部市立西岐波中学校
校長 中村 好弘

令和6年度全国学力・学習状況調査結果について

白露の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。
文部科学省から4月18日（木）に実施しました全国学力・学習状況調査結果について資料提供がありましたので、以下のとおり分析結果をお知らせします。

全国学力・学習状況調査は、生徒の学力や学習状況を把握・分析して、指導や学習の改善等に役立てるために実施されています。調査によって測定できるのは、学力の一部ではありますが、その結果からは、学習の定着状況や学習への取組等様々な傾向や課題がわかり、学校における指導の改善に活用しています。

1 各教科の結果から

(1) 教科別の平均正答率

	国語	数学
西岐波中	55.0%	54.0%
山口県	58.0%	52.0%
全国	58.1%	52.5%

(2) 正答率から見える本校の傾向

	国語	数学
成果	知識に基づく書き取りの問題や結論を読み取ることは比較的できている。	ペア・グループ同士で説明しあう活動等により、すべての領域で県平均を上回っている。
課題	筆者の思考展開がどう結論につながったかをとらえたり、求められている条件に応じて必要な事柄を過不足なく書いたりすることが苦手である。	証明など、図形に関する問題を苦手とする生徒がみられる。また、日常生活の「問題解決の方法を数学的に説明する」ことにも慣れていない。
今後の取組	日頃から丁寧に読み、自分で考え、相手に伝わる言葉を正確に選んで答えるような機会を増やす。	ペア・グループ活動を継続し、ICTや具体物を使ったりしながら意識して図形分野に関する問題に繰り返し挑戦する。

読解力

粘り強さ

説明力

2 生徒質問紙の結果から

日常生活習慣や学習習慣の実態調査を行う「生徒質問紙」の結果から、本校の成果◎と課題▲と考えられるものをいくつかお知らせします。

～ 全国平均との比較 ～

◎規則正しい生活ができている生徒の割合

毎日、同じくらいの時間に起きる	+ 5.3%
朝食を毎日食べる	+ 5.2%

◎学習全般に関する肯定的評価の割合

困りごとがあるとき、先生や学校にいる大人に相談できる	+ 22.1%
先生は、分かるところまで教えてくれていると思う	+ 10.7%
授業や学校生活では、お互いに協力しながら課題解決に取り組んでいる	+ 6.6%

◎学校での ICT 活用に関する肯定的評価の割合

理解しながら学習が進められる	+ 5.7%
自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	+ 9.7%
友達と協力しながら学習を進めることができる	+ 8.6%

◎理数教科が好き・分かると思っている生徒の割合

理科が好き	+ 19.8%
数学が分かる	+ 10.3%

▲国語が好きと思っている生徒の割合	- 14.7%
▲1・2年の授業で、自分の考えを工夫して発表した生徒の割合	- 7.0%
▲休日の家庭学習の時間が塾なども含めて1時間未満の生徒の割合	- 9.0%
▲平日のゲーム時間が、1日2時間以上の生徒の割合	- 14.8%
▲平日のゲーム、学習以外での SNS、携帯電話、パソコン等の使用が1日2時間以上の生徒の割合	- 13.8%
▲自分にはよいところがある、と答えた生徒の割合	- 8.5%
▲将来の夢や目的をもっている、と答えた生徒の割合	- 4.6%

規則正しい生活を送り、友達や教職員に対して友好的な感情を抱きながら、誠実に授業に取り組む本校生徒の実態が改めて浮き彫りになりました。一方で、一日平均4時間以上ゲームをしている生徒が4人に1人、ゲームとは別に SNS を4時間以上使う生徒も5人に1人いることもわかりました。また、ICT を使って自分の意見を表現することに自信をもっている一方で、その場で自分の意見や考えを发表或し、書いたりすることには苦手意識を感じていることもわかりました。自己肯定感や将来の目標をまだもてていない生徒もいます。これらの課題解決に向け、2学期からも引き続き、めあて、振り返りを重視し、ペア・グループ活動等を取り入れた授業の実践や、学習プリント等を用いた家庭学習の充実を実施しているところです。今後も各ご家庭や地域との連携を通して、生徒たちの学力向上に向けた取組を行って参りたいと思います。引き続きご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

